

日向山靈山寺（現、宝城坊）の文化財年表

時代	元号	西暦	出来事	根拠
奈良	霊亀 2	716	行基、靈山寺を開創	吾妻鏡
平安	10世紀頃		木造薬師如来両脇侍像（鉦彫、国重文）開眼	
	天曆 6	952	村上天皇の詔により銅鐘が鑄造される	銅鐘銘文
	寛仁 4 ～万寿 1	1020 ～1024	大江公資の妻、歌人相模参籠	相模集
	仁平 3	1153	鳥羽上皇の院宣により、銅鐘を改鑄	銅鐘銘文
	この頃		木造十二神将立像（県指定）	
鎌倉	建久 3	1192	源頼朝、政子の安産を祈願して神馬を奉納	吾妻鏡
	建久 5	1194	頼朝が娘の病氣平癒のため靈山寺に参詣	吾妻鏡
	承元 4	1210	政子が靈山寺に参詣	吾妻鏡
	建暦 1	1211	政子、実朝夫人とともに靈山寺に参詣	吾妻鏡
	この頃		薬師如来坐像、日光・月光菩薩立像、阿弥陀如来坐像、四天王立像（国重文）造立	
	弘安 1	1278	藤原定吉、源氏女が日向七所権現に懸仏を寄進	新編相模国風土記稿
	この頃		厨子（国重文）建造	
南北朝・室町	暦応 3	1340	銅鐘を改鑄（国重文）、十二神将（国重文）を勧請	銅鐘銘文
	この頃		（伝）妙沢版木（市指定）	
	この頃		獅子頭（県指定）	
	延文 2	1357	唐櫃（県指定）奉納	唐櫃内側墨書
	正平 19	1364	足利尊氏の子、基氏（鎌倉公方）が大幡（県指定）を奉納	風土記稿
	康暦 2	1380	後円融天皇の綸旨により、三河、遠江の棟別銭で堂宇を修造	管領斯波義将施行状 後円融天皇綸旨
	天文	1540	大太鼓（県指定）の革を張り替える	太鼓内墨書
安土 桃山	永禄 12	1569	日向の山伏、津久井青根で武田信玄と戦い敗北	
	天正 19	1591	家康より寺領 60 石の朱印状を受ける	新編相模国風土記稿
江戸	万治 3	1660	幕府から丹沢の立木 100 本を賜り、本堂（国重文）を修理	棟札（風土記稿）
	元禄 2	1689	本堂扉の修理	扉金具銘文
	宝暦 13	1762	鐘楼（市指定）建立	棟札
	元文 4	1740	千手堂建立	千手観音墨書
	元文 5～ 延享 2	1741～ 1745	本堂、仏像の修理	風土記稿 本尊光背裏墨書
	天保 4	1833	仁王門焼失、再建	風土記稿
	この頃		金剛力士像（市指定）造立	賓頭盧尊者像墨書
明治	明治 3	1870	宝城坊を残し、他の坊が廃絶	
	明治 33	1900	本尊薬師三尊、国宝（現、国重文）となる	

国指定文化財の出来事

県指定文化財の出来事

市指定文化財の出来事